



沖縄県立那覇国際高等学校

飛躍

学校だより 第8号

2026年(令和8年)9月8日

校是：右文尚武

(学業を尊び、部活動にも励む)

発行者 校長 伊志嶺嘉典

～ 大学生による進路講演会 ～

9月1日、1, 2年生を対象に、今春卒業した卒業生を招き、進路講演会を開催しました。部活動や課外活動と受験勉強を両立させ、進路を切り拓いた先輩たちから熱いメッセージを届けていただきましたのでその一部を紹介します。

【スマホ対策】「意志」に頼らず「環境」を整える

- ・誘惑に負けないよう、SNS(インスタ等)や動画アプリ(YouTube等)はアプリ自体を削除し、アカウントからもログアウトして見られない状態を作った。
- ・スマホのホーム画面には単語学習アプリや勉強管理用アプリのみを配置。

【両立の極意】隙間時間を有効に利用し、挑戦を楽しむ

- ・部活をやっている人は「隙間時間の使い方が上手になる」強みがある。大会や試合の合間に少しでも単語帳を開くような小さな積み重ねを信じ、最後まで走り切りきること。
- ・1・2年生はとにかく挑戦。やりたい活動や留学、ボランティアなど、気になるものには何でも挑戦して視野を広げることが大切。

【後輩たちへ贈る先輩からの言葉】

- ◆世間の『正しい方法』に囚われすぎず、自分で見つけた勉強法を信じること。
- ◆受験は多くの人に支えられる時期。家族や先生、友達を大いに頼り、結果がどうあれ最後には必ず『ありがとう』と感謝を伝えること。

1, 2年生の皆さん、「受験はまだ先のこと」と他人事のように考えていませんか？ 3年生になってから焦るのではなく、今この瞬間から行動を起こすことが、ゆとりと自信を与えてくれます。先輩たちの体験談を自分事として受け止め、自分がどんな将来を描きたいのか、真剣に考えるきっかけにしてください。企画・運営を担当された知念先生、ファシリテーターの町田先生、お疲れ様でした。

★★★ 講師(卒業生) ★★★ ありがとうございました！

城間咲和(琉球大) 石塚璃央(名古屋市立大) 高橋賢太(京都府立大)

樽角光(北海道大) 黒木怜実(九州大) 島袋りり愛(お茶の水大)

※敬称略



◇ ザンビア高校生との国際交流！ ◇

8月27日、アフリカのザンビアより高校生が本校を訪問し、国際交流を行いました。今回の訪問は、外務省が支援する「Japan-Africa Youth Program」の一環として行われたものです。生徒たちは「書道」や「地歴」の体験授業、お互いの伝統文化の紹介を通じ、積極的にコミュニケーションを図りました。また、午後に実施した、3年生「激励会」の冒頭、ザンビアの伝統的なダンスが披露され、会場が大盛り上がりとなりました。気軽に訪問できる距離ではありませんが、直接触れ合い、互いの文化を尊重し合ったこの経験は、生徒たちの心をより豊かに育んでくれたはずです。

